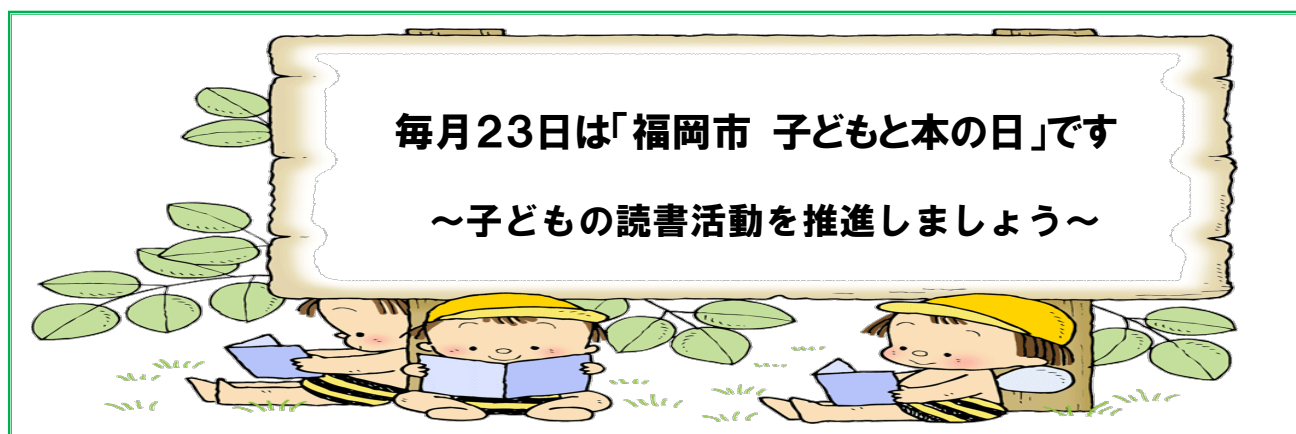




福岡市子ども読書活動推進計画（第4次）

子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものとし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことができないもの」です。（子どもの読書活動の推進に関する法律より）

福岡市においては、平成17年に、「福岡市子ども読書推進計画」を策定し、現在は、令和5年度からの6年間を展望し策定した「福岡市子ども読書活動推進計画（第4次）」に基づき、学校・家庭・地域・図書館を中心に、関係機関や団体と連携しながら、子どもの読書活動の推進に努めているところです。

「福岡市子ども読書活動推進計画（4次）」では、「広げよう 子ども達の本の世界 共につくろう ことば輝くまち」を掲げ、子どもたちが心豊かに生きていくために、自ら読書を楽しみながら、人との関わりの中で読書の楽しみを広げ、ことば輝く本の世界を共に作ることを目指して、子どもの読書活動を推進しています。

そのために、推進計画では、基本目標として

- （1）自分から読書に親しめる環境づくり
- （2）自分から読書に親しめる機会づくり
- （3）子どもの読書活動を支える人材づくり
- （4）子どもの読書活動を支えるしくみづくり

の4つをあげ、目標を実現するために

- ① 家庭・地域における読書活動の推進
- ② 学校における読書活動の推進
- ③ 図書館における読書活動の推進
- ④ 家庭・地域、学校、図書館の連携による読書活動の推進

という4つの取り組み分野を設定するとともに、関係する行政セクション等を明確にし、子どもの読書活動の推進に取り組むこととしています。



本年度も、「家庭・地域」「学校」「図書館」それぞれの活動の場で、また、各活動の場と連携しながら、子どもの読書活動の推進を図りたいものです。

「絵本で子育てを楽しく」を読んでみよう

文部科学省 HP 子ども読書の情報館より

<https://www.kodomodokusyo.go.jp/yomikikase/>

文部科学省のホームページに、子どもへの読み聞かせの有効性や読み聞かせの仕方のポイントなどをわかりやすくまとめたチラシが掲載されています。小さなお子様がいらっしゃるご家庭の方は、もちろんのこと、子どもの読書に関わる方は、1度、ご覧になられると参考になるのではないのでしょうか。

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 1. 絵本で子育てを楽しく | (A3版 16枚片面) |
| 2. 子どもと絵本の出会い | (A3版 1枚片面) |
| 3. 親子でいっしょに読み聞かせ | (A3版 1枚片面) |
| 4. 0歳から2歳頃の読み聞かせ 音やリズムを楽しもう | (A3版 1枚片面) |
| 5. 2歳から6歳頃の読み聞かせ ことばやジャンルを広げよう | (A3版 1枚片面) |
| 6. 読み聞かせの大切さ | (A3版 1枚片面) |
| 7. 絵本にふれる機会を増やそう | (A3版 1枚片面) |
| 8. こんなとき、どうする・どうしたQ&A | (A3版 1枚片面) |
| 9. 絵本で子育てを楽しく御案内チラシ | (A3版 2枚両面) |

＜6. 読み聞かせの大切さ＞には、

- 物語による体験が想像力を育てます
- 耳からおはなしを楽しむ
- 文字を読むことと本をよめることは別です
- 「昔ばなし」の読み聞かせ

の4つについての解説が載っています。

多くの子どもたちが、身近な大人との「読み聞かせの時間」を共有できるといいですね。



もうすぐ7月ですが、この時期は、梅雨や熱中症の予防等で、外で遊べない日も多くなります。そんな時に、子ども達が、学校や公立図書館、ご家庭等、それぞれの場所で読書ができればいいですね。そのためには、子どもに関わる大人の声掛けが大切になってきます。子ども達が読書に意識が向くように声掛けをしたいものです。

＜須藤＞



7月のことと人

7月6日「サラダ記念日」

“「この味がいいね」と君が言ったから 七月六日はサラダ記念日”

1987年5月8日に歌人・俵万智が発表した第一歌集『サラダ記念日』の中の一首です。『サラダ記念日』は、280万部のベストセラーとなりました。また「記念日」という言葉を一般に定着させました。

7月7日「七夕」

織姫（おりひめ）と彦星（ひこぼし）が天の川を渡って年に一度だけ会うことができるという中国の伝説に由来する日。この伝説が奈良時代に日本に伝わり、日本に元々あった七夕信仰と結びついて年中行事としての「七夕」へと発展しました。

曲亭 馬琴（滝沢 馬琴）

(1767. 7. 4～1848. 12. 1)

江戸時代後期の読本作者。代表作は『椿説弓張月』『南総里見八犬伝』。副業として下駄屋を営んだが、『南総里見八犬伝』の大ヒットにより、ほとんど原稿料のみで生計を営むことのできた日本で最初の著述家であったそうです。また、滝沢馬琴の名でも知られていますが、これは明治以降に流布した本名と筆名をつなぎ合わせた呼び方であるとして、近世文学研究者からは批判されています。

ロバート・アンスン・ハインライン

(1907. 7. 7～1988. 5. 8)

アメリカ生まれ。SF作家。SF界を代表する作家の一人で「SF界の長老」とも呼ばれ、影響を受けたSF作家も数多いそうです。科学技術の考証を高水準にし、SFというジャンルの文学的質を上げることに貢献しました。SF小説でベストセラーを産んだ最初の作家です。アイザック・アシモフ、アーサー・C・クラークと並んで、世界SF界のビッグスリーとも呼ばれています。

ヘルマン・カール・ヘッセ

(1877. 7. 2～1962. 8. 9)

ドイツ生まれのスイスの作家。主に詩と小説によって知られる20世紀前半のドイツ文学を代表する文学者です。南ドイツの風物のなかで、穏やかな人間の生き方を描いた作品が多数あります。また、風景や蝶々などの水彩画もよく描いていたため、自身の絵を添えた詩文集も刊行しています。1946年に『ガラス玉演戯』などの作品が評価され、ノーベル文学賞を受賞しました。

山本 有三 (1887. 7. 27～1974. 1. 11)

栃木県生まれ。小説家、劇作家、政治家として大正から昭和にかけて活躍しました。人道的な社会劇作家として有名となり、その後、小説に転じて『波』『女の一生』『真実一路』『路傍の石』などを書き、理想主義の立場から、人生の意味を平明な文体で問いかけた作風で多くの人に読まれました。第二次世界大戦後は、新仮名遣い制定など国語国字問題に尽力しました。

図書館員のひみつの本棚 第 230 回

今月は、新しい料理絵本シリーズの中から紹介します。

『ハンバーグだいすき』 荻田 澄子／ぶん いわさき まゆこ／え
金の星社 2025年 1400 円(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★★★★ 小低学年★★★★ 小中学年★★★ 小高学年★☆☆ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです)

<本の紹介>

湯気が立ち上りそうなほど精巧に描かれた絵と、わくわくするような楽しい擬音語で、ハンバーグの作り方が描かれたお料理絵本です。「とんとんさくさく」「ぱちぱちじゅっじゅ」「ぎゅうにゅうとくとく」などの言葉と、少しずつハンバーグができていく過程に、ページをめくりながらまるで読者も一緒にハンバーグを作っているような気分になります。最後に「じゅーっ！じゅーっ！」と、おいしい音が聞こえたら、思わずおなかが“ぐう”となりだしそうな、あつあつのハンバーグの完成です。

<子どもに手渡す時のポイント>

この絵本の魅力はなんといっても本物そっくりに描かれた絵に添えられた、擬音語たっぷりのリズムカルな文章です。料理をする時にあふれる音を楽しみながら読み進めて下さい。また、巻末にはハンバーグの作り方が載っているので、実際に絵本を見ながらハンバーグ作りに挑戦することもできます。大好きなハンバーグを作ってみたい！と、料理に対する興味を引き出すとともに、おいしそうな絵を見るだけでも食に対する興味も引き出すことのできる一冊です。

シリーズとして『カレーライスだいすき』『オムライスだいすき』もあります。どれも子ども達に人気のメニューです。園や学校の給食に合わせたタイミングで子ども達に紹介してもよいでしょう。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみて下さい。